

平成 22 年度  
広島大学大学祭企画  
実施報告書

「モノづくり/ヒトづくり 2010」

主催団体：広島大学工学部建築設計・計画学研究室  
木工野郎 A チーム  
代表：島津亮介

## はじめに

---

「モノづくり／ヒトづくり 2010」ではこれまでの「モノづくり／ヒトづくり」の流れを引き継ぎつつも、何か新しいことを生み出していくことを目標に掲げ企画を立ち上げました。

本企画では昨年と同様に、大学の学生や大学関係者に参加を呼び掛け、大学祭期間中（平成 22 年 11 月 6 日（土）～7 日（日））に「手づくり家具の展示会」を開催しました。本報告書では、それらの概要と反省、今後の展開について考えたいと思います。

## 本企画の趣旨

---

家具」は生活空間に密着したものであり、自分にあった家具を暮らしに取り入れることで、その生活空間を豊かにすることができます。自分の手で実用的な家具を作ることによって、ものに対する愛着・コストダウン・制作過程における多くの人々との出会いなど、形の創造だけにとどまらない様々なメリットが期待されます。

そこで「モノづくり／ヒトづくり」企画では、家具制作の場と、制作した家具の展示の場を提供することを企画します。

本企画の目的は以下の 3 つです。

- ①家具づくりを通して、生活空間の「設計手法」を学ぶ。
- ②展示された作品を通して、家具をつくることに興味をもってもらう
- ③モノづくりを通してヒトづくりを図る

## 展示会にむけて

---

8月の大学祭からの助成決定時より、建築設計・計画学研究室のメンバーを中心に、企画内容、PR方法、会場デザインなどを話し合いました。

### ■組織

本企画の運営を行う組織を次のように編成しました。

#### 【木工野郎 A チーム 2007】

代表：島津 亮介 (M1) 建築設計学研究室

連絡：岡本 彩奈 (M1) 同上

広報：濱田 大樹 (M1) 同上

記録：堀川 佳奈 (M1) 同上

道具管理：中村 洋輔 (M1) 同上

会計：田中 健三 (M1) 建築計画学研究室

会場デザイン：木工野郎 A チーム

### ■展示会場

工学部コミュニケーションギャラリー（通称：ガレリア）

- ・ 多くの人に気軽に見てもらえることができる
- ・ 家具の搬入、保管が容易
- ・ 会場のデザインが自由にできる
- ・ 雨天時にも展示会を行なえる

以上の理由から例年同様、開放的で十分なスペースのあるガレリアにおいて展示会を行うことを決定しました。しかし、大学祭メイン会場と距離があるために、昨年同様サイン計画にも配慮しました。詳細については後述します。

### ■参加者募集

昨年は募集ポスターを他学部にも掲示して広く参加者を募ったところ、教育学部・理学部他、様々な学部からの参加者があったため、今年は昨年以上に他学部の参加者募集に力をいれました。

## PR 活動内容

本企画をより多くの人に知ってもらうために、昨年度に続き本年度も、展示会のイメージをより印象付ける事ができるように、ポスター・DM・ポストカードのデザインコンセプトを統一しました。以下にPR活動の内容をまとめます。

- 参加者募集・展示会用ポスターの作成・掲示  
(添付場所：学内（全学部）、学外)
- もみじ・Campus Activitiesでのポスターの掲示
- ダイレクトメールの作成・送付（もみじ掲示板）

モノづくり/ヒトづくり 2010  
「手作りの家具の体験工作、及び展示」  
展示会：大学祭（11/6～7）

# 家具 作りませんか？

**参加者募集！初心者大歓迎**  
家具づくり 参加者募集  
参加希望の方は下記メールアドレスまで  
・名前  
・連絡先のメールアドレス、又は電話番号  
を明記の上ご連絡下さい。

第1回説明会  
10月 7日(木) 18:00～  
第2回説明会  
10月 8日(金) 18:00～  
第3回説明会  
10月13日(水) 18:00～  
工学部 A2棟 741 (大学院製図室)  
上記の日程で説明会を行います。  
説明会に来れない人の参加もOK!

〒731-8585 広島県広島市南区元町4-1-1  
広島大学工学部 建築設計・制作研究室  
代表 島林寛介  
TEL: 082-9620-5826  
E-mail: ryomasae1987@i-wu.jp

### モノづくり/ヒトづくり 2010

「手作りの家具の体験工作、及び展示」

私たち建築設計制作研究室では、ヒトが住まう建築的空間についての様々な設計・研究を行っていますが、生活空間での家具のつくりは人々の生活の大切なき所であり、自分のサイズに合った家具をそれぞれの生活空間に取り入れることは、自分に合うものの中で生活することによる「我が家」づくりのひとつだと考えます。また、自分たちで実用的な家具を創るといことは、モノに対する愛着が強く・コストが低い・創る過程を通して多くの人々とも出会う、など、かたちの創成だけに限らないメリットが期待できます。

そこで今回、私たちは手作り家具の体験工作の場の提供、創作家具の展示を企画致しました。

#### ■本企画の目的

- ・家具づくりを通して、生活空間の設計手法を学ぶ。
- ・体験工作、展示を通して自分の手で家具を創ることに興味をもってもらう。
- ・モノづくりを通してヒトづくりを促す。

#### ■昨年までの実績、意見を受けて

昨年の企画では、サイン計画を行うなどの新しいPR方法を実施し来場者の増加に成果を出しています。しかし、まだまだ他学部での認知度が低く、展示前～当日のさらなるPRが課題として挙げられます。作品製作のためにも、より多くの来場者の方々に作品を見てもらえるように、新しいPR方法を考えたいと考えています。また、昨年は家具製作に他学部の学生が数名参加しておりましたが、継続した誘みや募集のかけ方の改善により、さらに他学部の方の参加が増えました。このような家具の設計という建築の最も基本的なことを学部の枠を超えて他の学部の人たちと共に考えることで、それをきっかけとしてさらに学部同士の枠組みを超えた交流を築いていくことをしていきたいと考えています。

モノづくり/ヒトづくり 2010  
「手作りの家具の体験工作、及び展示」  
展示会：大学祭（11/6～7）

# 家具 作りませんか？

**参加者募集！初心者大歓迎**  
家具づくり 参加者募集  
参加希望の方は下記メールアドレスまで  
・名前  
・連絡先のメールアドレス、又は電話番号  
を明記の上ご連絡下さい。

第1回説明会  
10月 7日(木) 18:00～  
第2回説明会  
10月 8日(金) 18:00～  
第3回説明会  
10月13日(水) 18:00～  
工学部 A2棟 741 (大学院製図室)  
上記の日程で説明会を行います。  
説明会に来れない人の参加もOK!

〒731-8585 広島県広島市南区元町4-1-1  
広島大学工学部 建築設計・制作研究室  
代表 島林寛介  
TEL: 082-9620-5826  
E-mail: ryomasae1987@i-wu.jp

Hiroshima University

# 家具展

furniture exhibition 2010

11/6 SAT 11/7 SUN

工学部 A2棟 741 (大学院製図室)  
11/6 SAT 18:00～20:00  
11/7 SUN 10:00～18:00

〒731-8585 広島県広島市南区元町4-1-1  
広島大学工学部 建築設計・制作研究室  
代表 島林寛介  
TEL: 082-9620-5826  
E-mail: ryomasae1987@i-wu.jp

## 参加者説明会（平成 19 年 10 月 7・8・13 日）

参加者に対して本企画の趣旨と、作品を製作する場所、使用できる道具の種類、使用方法、その他諸注意等を行ないました。多くの参加者獲得のために、今年は説明会を 3 回に分けて開きました。3 日間、建築グループの学生を中心に、工学部の他の類の学生、教育学部・理学部・総合科学部・生物生産学部の学生など 40 数名が集まってくれました。

以下に参加者に対して配られた資料を記します。

### 「モノづくり/ヒトづくり 2010」

説明会（10/7, 8, 13）

「家具」は生活空間に密着したものであり、自分にあった家具を暮らしに取り入れることで、その生活空間を豊かにすることができます。自分の手で実用的な家具を作ることによって、ものに対する愛着・コストダウン・制作過程における多くの人々との出会いなど、形の創造だけにとどまらない様々なメリットが期待されます。

この企画では、手づくり家具の体験工作の場の提供・創作家具の展示を行います。

#### 目的

- ①家具づくりを通して、生活空間の設計手法を学ぶ。
- ②展示を通して、自分達の手で家具をつくる事に興味を持ってもらう。
- ③モノづくりを通してヒトづくりを図る。

#### 製作における注意事項

- ・道具類(のこぎり, ニスなど)はこちらで準備しますので、購入する必要はありません。  
(足りない道具・必要な道具がある場合は随時伝えてください)  
※緊急に必要な場合は購入してもかまいません(その場合も連絡してください)。
- ・材料(木材)は各自で準備してください。  
(経費で返金できる場合があるので、購入の際レシートと領収書をもらってください)  
※材料の運搬手段がなく購入できない人のために、まとめて購入しに行く日を作ります。
- ・作業を行う場合は木工野郎のスタッフが必ず 1 名常駐します。  
(スタッフがいない場合は工学部 A2 棟 6 階 631 室に呼びに来てください)
- ・喫煙所などの大学の規則は、しっかり守ってください。
- ・11 月 5 日(金)に完成するように作ってください。最終日に集中することが予想されます。作業場が狭いので、計画的に行うようにしてください。

けがをしないように注意してください!

#### 展示における注意事項

- ・11 月 6～7 日の展示の準備の手伝いをお願いします。

今年度は、昨年度まで家具作りで使用していたフェニックス工房が、新しく新設されたため、そちらの工房を使わせてもらいました

以下に参加者に対して配られたフェニックス工房に関する注意事項の資料を記します。

**注意!!**

**フェニックス工房使用に関して**

- ・ 工房を使用する前に、必ず **A2 棟 631 室**まで来てください。スタッフが同行します。
- ・ 製作場所はフェニックス工房 1F を使用します。 **材料を加工する場所と組み立てる場所を守って作業を行ってください。**
- ・ フェニックス工房にある**機械やスイッチなどには触れない**ように気を付けてください。ケガをしたり、機械が破損したりする恐れがあります。
- ・ 工房使用時間の**目安**は以下の通りとします。  
**平日：18:30～23:30      土曜日：13:00～19:00**
- ・ 工房使用前に、工房内にある全ての**機械にブルーシートを掛け**、木くずによって機械が故障しないよう配慮してください。
- ・ ご自身の**材料や制作途中の作品の管理**を行ってください。
- ・ 工房使用後は**ゴミを片付けてから作業を終える**ようにしてください。
- ・ 材料の買い出し日は、**10月15、18、19日の18:30**となります。  
工学部 A2 棟 631 室にお集まりください。
- ・ 購入した材料の領収書とレシート（明細）は、**ご自身のお名前を記入**し、1つにまとめてレシートボックスに入れてください。

## 家具製作

### ■参加者

最終的に参加者は 36 人、41 作品となりました。

参加者数は昨年より 14 人増え、作品数も 3 作品増え、比較的大きな家具をつくる方が多くいました。

建築グループだけでなく、工学部の他の類、また理学部や総合科学部、教育学部などからも昨年以上の参加があり、1 年生か

ら M1 までの幅広い学年による活動ができました。

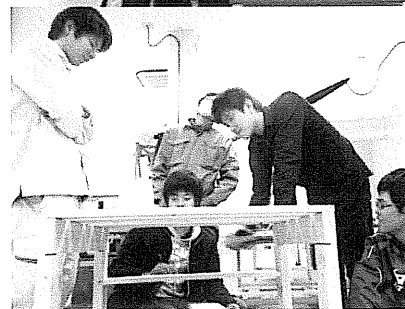
### ■制作活動

昨年までのアンケート結果などからも、家具づくりはしたいという気持ちと時間はあるのだけれど、造る場所と道具がないといった理由で家具づくりを断念する声を良く耳にしました。その要望に答えるというのも本企画開催のひとつの理由でした。

制作場所は夜間の貸し出しの了承を得たうえで、新設されたフェニックス工房 1F、作品の保管場所はフェニックス工房 2F としました。新設された工房の機械はすべて新しいため、木屑によるさびの発生が心配されていましたが、木材を加工する場所を工房の外部で、組み立てる場所を内部にして木屑が機械にかからないように考慮しました。また、念のためにも機械を毎回ブルーシートで覆ってから作業を開始しました

参加者要綱にあるように、道具は貸し出して利用可能ですが材料費は実費ということにしていたため、材料費などのコストを下げるという点にも各参加者の知恵が見られました。

また、制作時間は平日 18:00~23:30、休日 13:00~19:00 とし、手法に関しては参加者各自がそれぞれのペースで行うことを尊重しつつ、わからないことや、より精度の高い作品を仕上げるためにお互い話し合いながら制作しました。安全のために、制作時間帯は必ず運営組織のスタッフが常駐し、怪我のないように注意しました。道具の使用に関しても、参加者に対して指導するよう努めました。



## 会場デザイン・ネームプレートデザイン

### ■会場デザイン

デザインの統一されない作品達が展示された会場に、統一感をもたせるデザイン形態をとりました。今年は例年に比べて作品数が多いことから、来場者と作品の安全のため、作品の配置計画と来場者の動線計画については特にスタディを重ねました。そこで今年は斜めのグリッドの交点に昨年使用した寒水石を正方形に敷き詰めました。また、布にスプレーで家具展示とペイントしたものを階段の中央に垂らして展示会の看板として道行く人に何を行なっているのかをアピールし、またコンセプトカラーである赤・白を用いた事により、PR活動の効果を持続させようと会場全体を引き締める効果が得られました。また、各作品の隣に造花を置くことで会場全体が無機的にならないように配慮し、大事に作った家具をそのまま地面に置かないようにコンセプトカラーである赤・白のチェック柄の布を家具の下に敷き会場の表情を豊かにしました。

### ■ネームプレートデザイン

ネームプレートには作者、作品名、コンセプトを印刷しました。どの作品にも合うように、また作品と並べて展示するために作品のイメージを壊さないように極力シンプルなものを考えました。

プレートの材料はCDケースとし、CDには展示会後に制作風景や会場風景、個々の作品の写真をまとめて出展者に配布しました。



### ■サイン計画

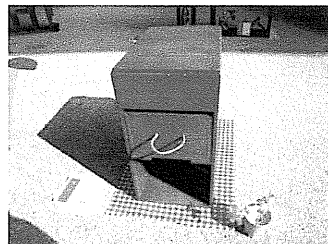
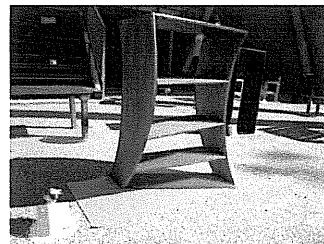
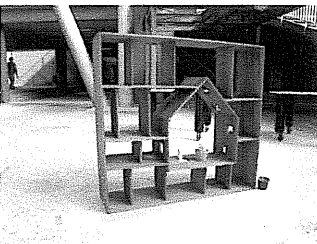
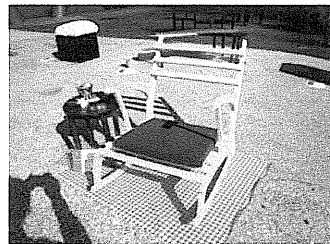
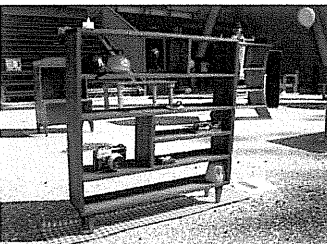
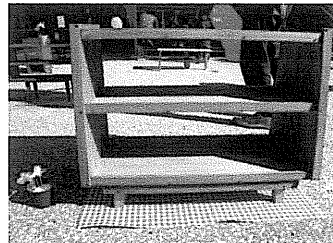
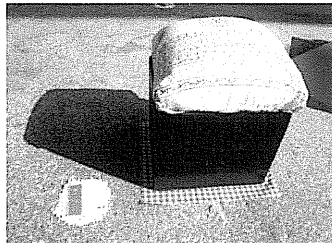
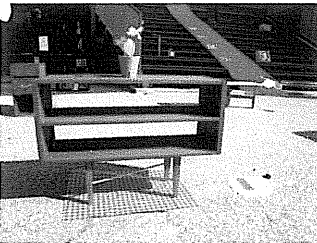
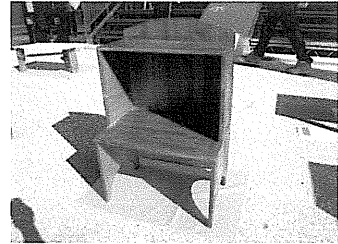
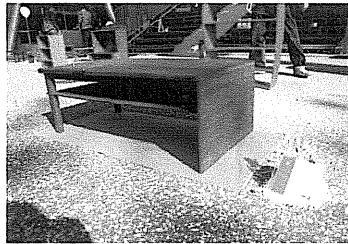
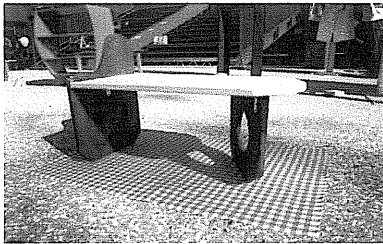
大学祭メイン会場（総合科学部）から展示会場までの距離が例年の課題となっていました。そのため昨年度は風船を使用した誘導サイン計画を実行しました。今使用した風船を展示会場で子供を中心に来場者に配付する事でメイン会場でのサイン効果に期待しました。使用した風船はヘリウムガス使用の為に空中へと浮かんでいきますが、環境に優しい土へと還元される材質のものを選択しました。





## 展示会（11月6、7日）

初日晴天に恵まれましたが、朝の展示準備では朝露がひどく、紙類や塗料を塗っていない木製の作品については展示方法に悪戦苦闘しました。翌日の夜に雨が降り出し、7日の展示会が心配されましたが、朝には雨は止み、雲行きは怪しかったです。展示会を通して雨もふらず、幸いにも両日あわせて330人の方々から家具展に関するアンケートを頂くことが出来ました。サイン計画の風船伝いに会場へ向かってくる人が多く見られPR・サイン計画の効果が伺えました。会場では来場者がたえる事なく、家具に触れたり、実際に座ったり、つくりをじっくり眺めたりと、思い思いの楽しみ方をされていたようです。また、会場係が積極的に声をかけると、様々な質問を投げかけてくれる来場者の方もいて、家具への関心の高さがうかがえました。直接の感想も聞けたので、制作者として有意義な接触でした。



## おわりに

---

### 謝辞

まず、本展示会に足を運び、熱心に作品をみてアンケートに協力していただいた来場者の皆様に深く感謝いたします。

また、後見教官として本企画に寛大に協力していただいた岡河貢助教授をはじめ、ポスター掲示に協力していただいた社会環境システム建築グループの事務員の方々、工学部事務の事務員の方々に心から感謝いたします。

最後に、本企画は広島大学大学祭企画と工学部おもしろ企画の助成により実施しました。記して謝意を表します